

## 1.1. 鹿児島県内でのキャンパスウェブ利用に関するQA

### (1) 鹿児島ルール

(1)ー1 鹿児島ルールとは何か。

⇒ 鹿児島ルールは、平成23年度まで「インターンシップ推進連絡会」で取り組んできたインターンシップの仕組みをルール化したもので、社会情勢や参加学校、企業等の要請に応じて随時見直しを行っているものです。

### (2) キャンパスウェブ利用

(2)ー1 掲載期間はどの設定すればよいか。

⇒ 「インターンシップ募集情報」の「掲載期間」欄で編集できます。  
掲載期間を終了させてしまうと、「インターンシップ募集情報」だけでなく「会社情報」も学生・学校が閲覧できなくなってしまうので注意が必要です。

(2)ー2 最終申込締切日はどの設定すればよいか。

⇒ 最終申込締切日とは、各企業等で定める「この日で受入学生の募集を完全に終了したい」日付のことで、「インターンシップ募集情報」の「申込締切日」欄で編集するものです。

鹿児島ルールでは、1次・2次マッチング期間((3)で説明)を設けており、企業等によっては早期に受入予定人数に達する場合も想定されますので、「申込締切日」備考欄に「受入人数が充足した場合は、申込締切日を繰り上げる可能性があります。」等と記載しておけば、学校・学生側も前もって理解ができるのではと思われます。

(2)ー3 エントリーシートで必ず申込むのか。

⇒ 選考にあたり、学生の考えを知る上で有益ですので、学校は、エントリーシートで申込みをさせるようにしてください。

(2)ー4 例えばある企業に1つの学校から学生20名分のエントリーシートが送信されたことを企業担当者に知らせるメールはどう届くのか。

⇒ 20回メールが届きます。

### (3) 1次・2次マッチング期間中

(3)ー1 1次・2次マッチングを設ける理由は何か。

⇒ 従来の方法では、5～6月に計2回マッチング期間を設け、大多数の学生のマッチングを行っていました。

鹿児島ルール(1),(2)で、5～6月に1次・2次マッチング時期を設け、学生が一度に申込める企業数を1社に限定しているのは、以下の理由からです。

- ①企業の決定が一部の学生に集中することを防ぎ、1人でも多くの学生がインターンシップに参加できるようにするため
- ②学生の辞退多発等による企業側の負担を軽減するため

(3)ー2 最終申込締切日と1次・2次マッチングの申込期間との違いは何か。

⇒ 最終申込締切日とは、各企業等で定める「この日で受入学生の募集を完全に終了したい」日付のことで、キャンパスウェブ中の「インターンシップ募集情報」の「申込締切日」欄で編集することができます。

1次・2次マッチングの申込期間とは、マッチングを円滑に行うために鹿児島ルールの中で設けているものです。1次・2次マッチングの申込期間についてはキャンパスウェブで日付を入力する必要はありません。

(3)ー3 1次・2次マッチングの対応は。

⇒ 1次・2次マッチングでは、

- ①学校側は申込期限を守り企業等へエントリーシートを提出してください。
- ②企業等は回答期間を守り、学校へ受入の可否を連絡してください。
- ③受入決定後は必ず、学校の担当者から企業等の担当者に連絡を取り、具体的な調整を進めてください。

※回答期限を過ぎても回答がない場合、各学校から問い合わせを行います。

(3)ー4 4月に最終申込締切日を設定する場合は。

⇒ 企業等側の事情でどうしても4月に最終申込日を設けたいところもあることから記述しております。

4月に最終申込締切日を設定する場合は、1次マッチングと足並みを揃えるために、学校への回答期間を、「5月第3土曜日～2週間後の週の金曜日まで」としていただきます。

(3)ー5 1次・2次マッチング期間中の受入募集の終了はどうしたらよいか。

⇒ 受入予定人数に達し、募集を終了する場合は、

1次・2次マッチングそれぞれの回答期間中に、「インターンシップ募集情報」の「申込締切日」欄を編集してください。「申込締切日」欄をその期間中の日付に変更すれば、エントリーできない状態になります。(日付を変更しない場合エントリー可能な状態が継続します。)

日付を変更することで、エントリーはできなくなりますが、別途企業等側で設定する掲載期間内であれば、会社情報・インターンシップ募集情報は引き続き閲覧できますので、学校・学生へのPR効果が期待できます。

また、募集を終了する場合、「申込締切日」備考欄に「受入予定人数に達したため、申込みを締め切りました。」等の説明を記載した方が学校・学生側も状況を把握しやすいと思われます。

H26年度の例：

- ・当初、最終申込締切日を7月20日に設定  
「インターンシップ募集情報」の「申込締切日」を「2014年7月20日」と編集
- ・1次マッチングで受入予定人数に達した。  
→これ以上学生を受け入れないことが会社内で決定（5月25日）  
「インターンシップ募集情報」の「申込締切日」を「2015年5月24日」と編集

(3)ー6 1次・2次マッチング回答後に、まだ受入人数に余裕がある、または受入人数を増やす場合はどうしたらよいか。

⇒ 1次・2次マッチング回答後に受入人数に余裕がある場合や受入人数を増やす場合は、「インターンシップ募集情報」の「受入予定人数」を編集してください。

#### (4) 1次・2次マッチング期間後

(4)ー1 1次・2次マッチング期間後の学校からの申込みへの対応は。

⇒ 2次マッチング期間後の申込みについては、各企業等の御判断で進めていただきたいと思います。

(4)ー2 1次・2次マッチング期間後の受入募集の終了はどうしたらよいか。

⇒ 募集を終了する方法は、(3)ー5と同じで、「インターンシップ募集情報」の「申込締切日」を編集してください。申込締切日欄をその期間中の日付に変更すれば、エントリーできない状態になります。(日付を変更しない場合エントリー可能な状態が継続します。)

また、募集を終了する場合、「申込締切日」備考欄に「受入予定人数に達したため、申込みを締め切りました。」等の説明を記載した方が学校・学生側も状況を把握しやすいと思われます。

#### (5) その他キャンパスウェブ利用

(5)ー1 キャンパスウェブを利用して学校と企業等が直接やりとりするメリットは。

⇒ キャンパスウェブを利用して学校と企業等が直接やりとりするメリットとして、以下の点が考えられます。

- ① システム上でやりとりを行うことで、企業・学校どちらも情報が整理しやすくなる。また、学生が企業情報・募集情報の検索に多くの時間をかけられる。
- ② 企業等は、エントリーシートをもとに学生の選考を行うことができる。また、学校の担当者と直接やりとりをすることで、インターンシップの実施に関する詳しい情報を得ることができる。

(5)ー2 県外の学生の取り扱いについてはどうしたらよいか。

⇒ キャンパスウェブは、登録することにより日本全国の企業等や学校の学生が利用できるシステムです。ただし、1次・2次マッチングの期間では、基本的に県内学生の選考を優先していただきたいと思います。

また、県では九州各県と連携して広域インターンシップを行っています。そちらを希望する場合は、別途県から案内する手続きに従って申込み等を行ってください。

(5)ー3 県外の企業等へのインターンシップはどうしたらよいか。

⇒ 県外の企業等（実習地が鹿児島県内ではない企業等）については、鹿児島ルールの適用はできませんので、自由に申込み等していただいて構いません。

(5)ー4 学校側で学生を選別してエントリーすることはできないか。

⇒ 従来から、選別して送り出す学校もあれば、そうでない学校もあります。企業等各学校から一定人数を募集したい場合、「インターンシップ募集情報」の「受入予定人数」の「自由記述」欄に「鹿児島県内各学校●●名受入」等と記述する方法があります。

## (6) 参加学校

(6)ー1 キャンパスウェブを利用する学校の数は。

⇒ 鹿児島大学、鹿屋体育大学、鹿児島国際大学、志学館大学、鹿児島純心女子大学、鹿児島純心女子短期大学、鹿児島女子短期大学、鹿児島県立短期大学、KCS鹿児島情報専門学校（9校）

(6)ー2 キャンパスウェブを利用しない学校は、別の手段でインターンシップを行うことになるのか。

⇒ 従来から学校独自枠でもインターンシップを行っている学校が大半ですので、その独自枠を使って取り組まれるものと思います。

(6)ー3 学校の参加如何に関わらず、学生の意志でキャンパスウェブを利用できないのか。

⇒ 多くの学生に参加していただきたいと考えておりますが、教育上の問題でもあり、あくまでも学生の所属学校の同意を得た上で、学生が参加できるという形にさせていただきます。

## (7) 幹事校

(7)ー1 企業等に対する幹事校の役割は。

⇒ 主に企業等からの問合せ窓口です。たとえば、事前研修の日程の連絡など、周知したい内容を幹事校へお伝えいただければ、参加校へ連絡します。

(7)ー2 平成28年度の幹事校は。

⇒ 正幹事校：鹿児島純心女子大学（進路支援課）  
副幹事校：KCS鹿児島情報専門学校（就職部）